

2020年5月28日

報道関係者 各位

県内赤十字奉仕団 自宅でボランティア活動中 医療者個人防護具代用品(エプロン)を作製しています

神奈川県内の赤十字奉仕団（ボランティア）は、緊急事態宣言からボランティア活動の自粛を続けています。

そのような中、日赤神奈川県支部では、県内赤十字病院から、看護師や看護助手が使用する個人防護具（ビニール袋から作るエプロン）の作製依頼を受け、県内全赤十字奉仕団に作製の依頼をしました。

5月27日（水）、これまでに作製されたエプロンを横浜市立みなと赤十字病院に届けました。

病院から依頼を受けたエプロン65,000着の作製に、現時点で延べ244名のボランティアにご参加いただいています。また、青少年赤十字登録校[※]にもご協力いただきます。

※ 学校再開以降の青少年赤十字の活動として、県立の養護学校にご協力いただきます。

病院へはエプロンと合わせてお寄せいただいた“応援メッセージ”も届けました。

メッセージには、医療現場の続く緊張感を気遣う「医療従事者の力になれて嬉しい」や「少しでもお役に立てれば」などオール赤十字で新型コロナウイルス感染症に向き合っていると感じられるものが多くありました。

<画像提供> 下記画像の提供が可能です。

- ・赤十字奉仕団が作製したエプロン
- ・エプロン作製風景
- ・作製者たちからの応援メッセージ
- ・エプロンの受け渡し



●お問い合わせ先・取材申込み先

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課

TEL: 045-681-2124 Email: kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp